

## 企業会計基準委員会からの IFRS「収益認識」に関するフィードバック

JISA 企画委員会財務税制部会では、我が国の会計基準設定主体である[企業会計基準委員会\(ASBJ\)](#)に、従来より、ソフトウェアの特性や受託ソフトウェア開発ビジネスの観点から、情報サービス業界に影響の大きな会計基準について意見提出を行ってきている。

今般、ASBJ より、[国際会計基準審議会\(IASB\)](#)と[米国財務会計基準審議会\(FASB\)](#)の共同プロジェクトとして 2011 年 11 月に公表された[公開草案「顧客との契約から生じる収益」\(改訂公開草案\)](#)に[当部会が意見提出を行った](#)ことに対する非公式なフィードバックがあった。

これまで JISA から ASBJ に提出した意見についてのフィードバックは特になく、その後の公表内容に意見が織り込まれているかを確認してきた。しかし、ASBJ によれば、本改訂公開草案については、収益認識に関する国際的な会計基準の動向は、我が国においても非常に関心が高く、また重要な影響が見込まれることから、両審議会による再審議の状況に適時に関係者に情報提供するとの趣旨によりフィードバックすることとしたとのことである。

今般のフィードバックは、本年 5 月の IASB・FASB 合同ボード会議においてこの改訂公開草案の再審議計画が承認されたことを受けて、今月ロンドンで開催された会議の[アジェンダ・ペーパー](#)を ASBJ が仮訳したものであった。

ASBJ によると、この会議のアジェンダは次のとおりである。

1. 別個の履行義務の識別
2. 履行義務の充足
3. ライセンス
4. 不利テスト

詳しくはアジェンダ・ペーパーの上記リンク先を参照されたい。

(田中)